



浦島伝説

3K(トリプルK)

かつて『3K』とは、主に作業服を着た現場の作業員など現業系や技能系の職種について、その労働環境や作業内容が「きつい」「汚い」「危険」であることを意味していました。また、最近では、ITサービス業界・コンピュータ業界などにおいて、「きつい」「帰れない」「給料が安い」などを『新3K』と呼ぶこともあるそうです。(※ウィキペディアから一部引用)

今日から、1年回は3泊4日の五色台集団宿泊学習が始まりました。そのテーマも『3K(トリプルK)』です。たしかに、普段の豊かな生活と比べたら「きつい」かもしれません。家にも帰れません。でも、1年団が掲げているのは、「協力」「けじめ」「規則」の3Kです。さらに、しおりの中には、「先を見通し、周りを見渡す」「独りぼっちをつくらない」などの言葉もあります。様々な体験を通して、これらのことを身につけ、きっと金曜日には大きく成長した姿で帰ってくると信じています。

また、これらの言葉は、学校生活にもあてはまります。学級や部活動で仲間と協力すること、授業と休み時間のけじめをつけること、校則や交通ルールなどの規則を守ることは、とても大切なことです。先日2年生が職場体験で学んできたことも同じです。そして、3年生が卒業後に羽ばたいていく社会や高校においても、これらは“信頼される人”であるための条件だと言えます。

1年生がいない今週、2・3年生が先輩の貴禄をしっかりと見せてください。今度、全校生がそろそろ来週は、2学期終了まで残り2週間という時期です。“有終の美を飾る”という言葉のように、今年1年の締めくくりとして、全力で取り組んでくれることを期待しています。

こんな授業もありました

第2回浦島デーは、副担任の先生方の授業でした。その中から、いくつかの授業を紹介します。2年2組の技術・家庭(丸岡正則先生)は、四国電力の方を講師に招き、エネルギーの有効利用について考える学習をしました。また、2年1・3組も午前中に同じ授業をしたので、みんなで節電を意識してくれるでしょう。

3年は、3つのクラスで新聞を使った授業を行いました。3年2組の社会(桑田先生)は「メニュー不適切表示」、3年3組の保健(小片先生)は「災害ボランティア」、3年4組の道徳(秋山先生)は「ボランティア」についての新聞記事を取り上げました。これは、四国新聞社の企画「出前授業中学校訪問」として行ったもので、2人の記者が取材に来られました。なお、この様子は12月24日の四国新聞に掲載予定です。



2年2組(技術・家庭)



3年2組(社会)



3年3組(保健)

また、授業参観の前に行われた「給食試食会」にもたくさんの方に出席いただき、好評を得ました。

- ◆ さつまは子どもの好きなメニューで、家でリクエストされますが手間なので作りません。今日いただいてとても美味しかったので、家でもぜひがんばって作りたと思いました。
- ◆ 初めてさつまを食べました。大変おいしくいただきました。ビデオを見て、調理員さんのご苦労がよくわかりました。いろいろな配慮をいただいているんだなと感謝の気持ちでいっぱいです。
- ◆ 衛生面もものすごく徹底していて、本当にていねいに作ってくださっているのがよくわかりました。栄養のバランスもよく、薄味でもおいしかったです。
- ◆ 子どもたちが健康で大きくなったのは給食のおかげだと思います。3年生なのでもう食べられなくなると名残惜しいようです。